

2021 年度 企業アンケート結果について（報告）

1. 調査の概要

- (1) 実施時期：2021 年 6 月～8 月
- (2) 対 象：採用実績のある県内外の企業等 100 事業所
- (3) 回収状況：61 事業所（回答率：61.0%）
- (4) 実施方法：インターネットでの回答

2. 集計結果

(1) 正規雇用されている本学卒業生数

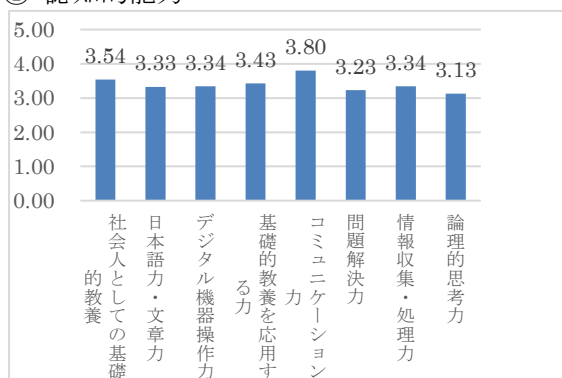
在籍者が多い事業所

事業所
株式会社鹿児島銀行
鹿児島信用金庫
南国殖産株式会社
株式会社エーコープ鹿児島
株式会社M i s u m i

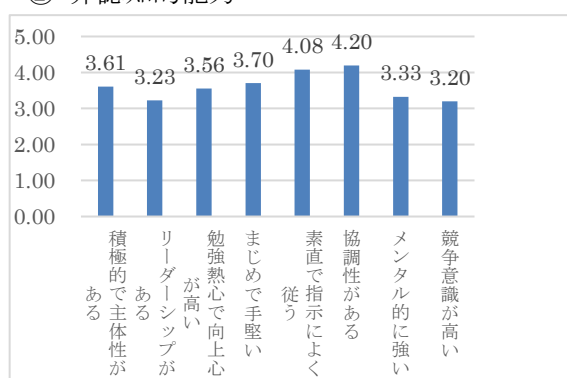
(2) 本学卒業生の能力等について

- 本学卒業生の傾向として、認知的能力より非認知的能力が高い。非認知的能力では、「素直で指示によく従う」「協調性がある」が高い。
- 認知的能力に関しては、社会人としての基礎的教養やコミュニケーション力の研鑽を重ねて欲しいと言う表れであると思われる。

① 認知的能力

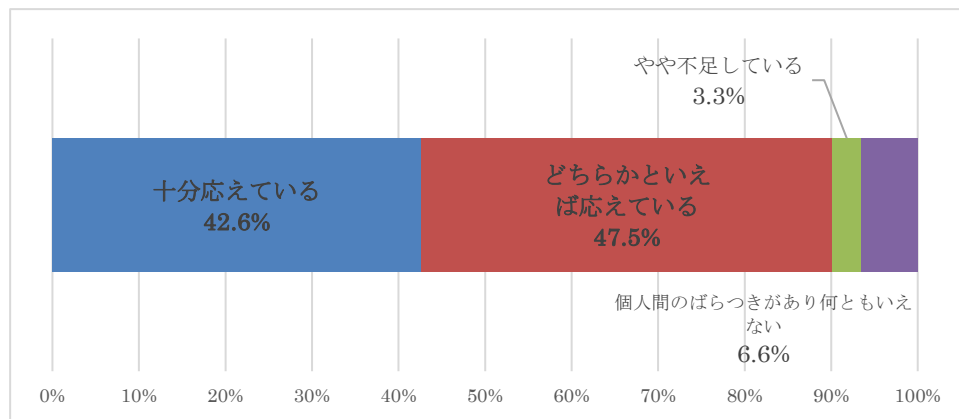


② 非認知的能力



(3) 本学卒業生は貴事業所の人材ニーズや期待に答えているか。

- 9割以上の事業所が肯定的な評価をしており、本学卒業生を必要な人材と見ている事業所が多いといえる。



(4) 本学の教育について、今後、育成を強化する能力は何か。(3つ以内)

- 「コミュニケーション力」「問題解決力」「実行力(突破力)」が高い。
 ➤ 「問題解決力」は今後強化していく必要がある。

<回答者数>

	回答数	合計	基礎的スキル	専門的スキル	コミュニケーション力	問題解決力
2021	61 (100.0)	172 (282.0)	19 (31.1)	3 (4.9)	34 (55.7)	36 (59.0)
	情報収集・ 処理力	論理的思考力	実行力 (突破力)	自己管理能力	他者へ配慮 する力	その他
2021	8 (13.1)	13 (21.3)	30 (49.2)	15 (24.6)	11 (18.0)	3 (4.9)

※その他の回答

- ・メンタル面の強化 (2件)
- ・継続力

(5) 育成を強化すべき能力のために今後支援を充実させること。(3つ以内)

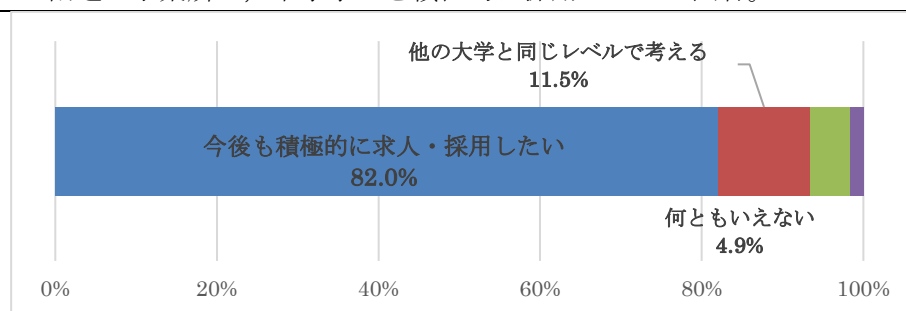
- 「キャリア教育」「インターンシップ」「フィールドワーク」が高い。いずれの項目においても本学において実践されているが、学生が意義や目的を理解しているか、目標達成度などを検証する必要がある。
- 「キャリア教育」では、認知的能力（基礎学力）を幅広く育成する必要がある。

	回答数	合計	講義・ゼミナールの活動	データサイエンス教育	キャリア教育	インターンシップ
2021	61 (100.0)	88 (144.3)	23 (37.7)	10 (16.4)	29 (47.5)	26 (42.6)

	フィールドワーク	地域貢献活動	ボランティア活動	海外留学	サークル活動
2021	29 (47.5)	19 (31.1)	10 (16.4)	1 (1.6)	12 (19.7)

(6) 今後の本学卒業生についての求人・採用の意向について

- 8割超の事業所が、本学学生を積極的に採用したいと回答。



(7) 在学時に取得しておいた方が有効な資格・免許

業種	有効な資格・免許
どの業種でも必要	普通自動車免許（MT），日商簿記
サービス業	ビジネス法務検定
メーカー	宅地建物取引士，インテリアコーディネーター，秘書検定， ファイナンシャルプランナー，漢字検定，ビジネス実務法務検定
医療業	医療事務，秘書検定，社会福祉士，介護福祉士
卸売業	ITパスポート，語学関連（英語）
金融業	証券外務員Ⅰ種，秘書検定
社会福祉	社会福祉士，精神保健福祉士，教員免許状，保育士
小売業	ITパスポート
総合商社	危険物取扱者免状（乙四），情報処理検定，宅地建物取引士
保険業	ファイナンシャルプランナー

※網掛けは資格教育センターでの開設（案）

以上

2021 年度鹿児島国際大学「企業アンケート」（質問用紙）

事業所名 _____

部 署 _____

ご担当者名 _____

連絡先 (TEL) _____

Q 1 現在、貴事業所に正規雇用されている本学卒業生は何人在籍しておられますか。

本学卒業生の在職者数（大学院修了生含む）： _____ 人

Q 2 貴事業所において、本学卒業生の職種は主にどの職種に該当しますか。

①総合職 ②営業職 ③事務職 ④技術職 ⑤研究職
⑥その他（ _____ ）

Q 3 最近（直近 5 年程度）貴事業所に採用された本学卒業生について、貴事業所が求める人材像との比較において以下（1～7）の能力等をどのように感じられますか。

No.	質問項目	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
1	社会人としての基礎的教養	5	4	3	2	1
	日本語力・文章力	5	4	3	2	1
	デジタル機器操作力	5	4	3	2	1
2	基礎的教養を応用する力	5	4	3	2	1
3	コミュニケーション力	5	4	3	2	1
4	問題解決力	5	4	3	2	1
	情報収集・処理力	5	4	3	2	1
	論理的思考力	5	4	3	2	1

Q 4 最近（直近 5 年程度）貴事業所に採用された本学卒業生について、以下（1～8）の傾向等がどの程度感じられますか。

No.	質問項目	とても感じる	やや感じる	ふつう	あまり感じない	感じない
1	積極的で主体性がある	5	4	3	2	1
2	リーダーシップがある	5	4	3	2	1
3	勉強熱心で向上心が高い	5	4	3	2	1
4	まじめで手堅い	5	4	3	2	1
5	素直で指示によく従う	5	4	3	2	1
6	協調性がある	5	4	3	2	1
7	競争意識が高い	5	4	3	2	1
8	メンタル的に強い	5	4	3	2	1

Q 5 本学卒業生は全体として、貴事業所の人材ニーズや期待に応じていると思われませんか。

- ①十分応えている
- ②どちらかといえば応えている
- ③やや不足している
- ④不足している
- ⑤個人間のばらつきがあり何ともいえない

Q 6 本学の教育について、今後どのような力の育成を強化するのが望ましいと思われませんか。
3つまで回答してください。

- ①基礎的スキル
- ②専門的スキル
- ③コミュニケーション力
- ④問題解決力
- ⑤情報収集・処理力
- ⑥論理的思考力
- ⑦実行力（突破力）
- ⑧自己管理力
- ⑨他者へ配慮する力
- ⑩その他（ ）

Q 7 Q 6で挙げていただいた項目を育成するために本学がどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われませんか。3つまで回答してください。

- ①講義・ゼミナールの活動
- ②データサイエンス教育*
- ③キャリア教育
- ④インターンシップ
- ⑤フィールドワーク
- ⑥地域貢献活動
- ⑦ボランティア活動
- ⑧海外留学
- ⑨サークル活動
- ⑩その他（ ）

※データサイエンス教育とは、データを軸として情報科学、統計などのアプローチから有益な知見やビジネス上の便益をもたらすよう働きかける学問

Q 8 今後の本学卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

- ①今後も積極的に求人・採用していきたい
- ②他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
- ③求人・採用をしていく予定はない
- ④採用は個人本位であり、何ともいえない
- ⑤その他（ ）

Q 9 貴事業所に就職するうえで、在学時に取得しておいた方が有効と思われる資格・免許があればお書きください。

Q 10 その他、本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください。
